

屋島活性化基本構想に基づく、平成25年度取組状況および26年度事業の方向性【にぎわい創出部会】

No.	施策・事業名	平成25年度取組状況	平成26年度事業の方向性	参考資料
04	現代源平屋島合戦絵巻の開催	瀬戸内国際芸術祭2013の公式イベントと位置づけ、10月14日に屋島東町 立石港埋立地で開催 参加者2,500人、観客2,500人	次回の瀬戸内国際芸術祭に併せての開催を検討 開催場所・参加者(構成)・運営・あり方についても検討	
05	瀬戸内国際芸術祭との連携(高松港周辺における屋島での展開事業)	屋島山上の作品(レアンドロ・エルリッヒ『美しく捨てられて』)について、芸術祭2013の会期外(各会期の谷間期間)の管理・案内等の業務を実施 作品は、12月末までに撤去される予定	実行委員会での次回作品展開に当たっての関係団体との協議・調整 25年度の検証、課題整理、条件整理 設置場所も含めた検討	
09	遠足バス通行料の助成	遠足バス通行料助成に代わる事業として、子ども用パンフレットを作成中	遠足バス通行料助成に代わる事業内容を検討するとともに、より良い実現方法について検討	
11	自然・歴史ガイドの育成	ホームページにボランティアガイドの募集広告を掲示 新規登録希望者に対して随時研修を実施 実績:1名	幅広い分野のガイドを募集・育成 各種広報ツールによる募集広告 研修会開催 年2回 (新人研修・スキルアップ研修等) ガイドブックの作成	
15	観光ルートの開発・商品化・宣伝	源平屋島地域運営協議会(事務局:観光交流課)専門委員会において、「集客促進部会」を設置。これまで2回の会議を開催 香川大学と「自治体連携による瀬戸内地域の活性化と地(知)の拠点整備事業」を実施	民間のノウハウを活用した観光モデルルートの開発、企画モニタリングツアーの実施、検証 商品化誘因方策の検討等 観光ルートの商品化支援 瀬戸内海国立公園指定80周年の事業に合わせた山上観光ルートの検討・実施 香川大学との事業成果に基づく検討	
16	屋島のパンフレット・マップ等の作成	類似パンフレットの資料収集 源平屋島地域運営協議会「企画事業専門委員会」において「情報発信部会」を設置、これまで3回の会議を開催	利用者・部会委員等の意見を踏まえて修正を加えて増刷	

No.	施策・事業名	平成25年度取組状況	平成26年度事業の方向性	参考資料
17	周辺観光施設等との連携割引制度等の創設	源平屋島地域運営協議会において、「源平の里魅力発見スタンプラリー」の実施を検討 スタンプの設置場所を検討するとともに、設置場所における入館料の割引について、施設と協議 香川大学と「自治体連携による瀬戸内地域の活性化と地(知)の拠点整備事業」を実施	関係機関・団体・事業者との協議 手法等の見直し 具体的な連携手法や事業対象の調査・検討 香川大学との事業成果に基づく検討	
18	定期シャトルバス路線の拡充	瀬戸内国際芸術祭の開催期間中の土・日・祝日に、JR高松駅まで拡充したシャトルバスを5往復運行 四国村にバス停を新設	25年度における検証結果に基づき拡充対策を検討、実施 事業者と拡充手法、役割分担について協議	
25	子ども向けパンフレット等の作成・活用	類似パンフレットの資料を収集。 源平屋島地域運営協議会「企画事業専門委員会」において「情報発信部会」を設置。これまで3回会議を開催し、市の担当者も含め、源平屋島地域で活動している方々の意見を聴取	利用者・にぎわい創出部会委員等の意見を踏まえて修正を加えて増刷	
26	屋島地域交流イベントの開催	源平屋島地域運営協議会(事務局:観光交流課)専門委員会において、「集客促進部会」を設置。これまで2回会議を開催し、市の担当者を含め、源平屋島地域で活動している方々の意見を聴取	既存イベントの見直し、拡充 屋島地域を対象としたイベントの企画募集 実施したイベントの検証 国立公園指定80周年にあわせて、屋島山上での新規イベントの検討・実施	
35	眺望を遮る樹木の剪定・伐採	現地確認を実施。 平成26年の瀬戸内海国立公園80周年に向け、事業の実施方法について県と市で調整中。	関係機関・団体・事業者との調整 眺望を遮る樹木の特定等 関係者に対し、眺望確保のための樹木の適切な管理協力依頼	
40	新屋島水族館等集客施設の充実	未着手	関係機関・団体・事業者との協議 関係事業者の方針等を踏まえた具体的対応策の検討 関係事業者の方針を踏まえた対応 屋島山上における集客施設のあり方検討	

No.	施策・事業名	平成25年度取組状況	平成26年度事業の方向性	参考資料
41	山上駐車場の拡充	未着手	利用状況・現状の把握 関係機関・事業者と、運営主体・管理等 についての協議を踏まえた検討	
44	多目的広場の整備	山上の廃屋跡地について土地所有者との賃貸 借契約が成立し、屋島レストセンターYC跡・ホテ ル源平跡・檀ノ浦旅館跡・屋島館跡松観荘跡に ついて芝生公園や多目的広場を整備した。	土地賃貸借、芝生公園・多目的広場等 の維持管理の継続	

【にぎわい創出部会】

基本構想に掲げる44の具体的施策・事業		取組事業名			概要	平成25年度の事業内容	進捗状況	第1回会議委員意見	平成26年度の事業内容		第2回会議委員意見	
No.	事業名	No.	事業名	ページ					当初	訂正(案)		
04	現代源平屋島合戦絵巻の開催	イ-2	現代源平屋島合戦絵巻開催事業	13	瀬戸内海国立公園有数の景勝地であり、多くの源平合戦の史跡を有する屋島の地域資源を生かした観光振興を図るため、瀬戸内国際芸術祭2013の関連事業として、屋島を舞台に、太鼓や音楽を中心とした現代源平屋島合戦絵巻を開催します。	現代源平屋島合戦絵巻の開催(平成25年10月14日開催予定) 事業の結果を踏まえた今後のあり方の検討 事業費:28,000千円 主管課:観光交流課	瀬戸内国際芸術祭2013の公式イベントと位置づけられた現代源平屋島合戦絵巻を10月14日に開催した。参加者2,500人、観客2,500人が、屋島東町立石港埋立地に集まり、盛大に行われた。	屋島の活性化を図るためには、瀬戸内海の眺望、源平合戦の古戦場、新屋島水族館や四国霊場第八十四番所屋島寺といった、既存の魅力に加え、新たな付加価値を創造していくことが重要であり、国内外から注目されている瀬戸内国際芸術祭と連携した当該イベントは非常に効果的と考える。	今の展開の仕方ではカネと手間ばかりかかって、心がこもってないと思います、何よりも担い手が見えません、少なくとも庵治・牟礼・屋島の源平合戦や源平の史跡のある地域が協働で汗をかいて、持続可能な形で運営できる環境がまわらずありきて、その上プロが乗っかって色図け肉付けができれば最高ですね、小さく生んで大きく育てる地域に根差した現代源平絵巻をもう一度構築しなおしてください。	次回以降は屋島山上で開催する。源平による町おこし・祭礼を行っている街から主催者や地域の方々を招待して、各地の観光PRも行っていただきつつ、源平に分かれて競争をしてほしい(ex.源氏祭りを開催している兵庫県川西市・滋賀県近江八幡市、平家の落人伝説で名高い徳島県三好市祖谷地区・宮崎県椎葉村など。)	今後の在り方の検討結果に基づき対応	今回の瀬戸内国際芸術祭の開催に併せての開催を検討する。 場所・参加者(構成)・運営・あり方についても、真に地域おこしの観光イベントになるよう再考する。
05	瀬戸内国際芸術祭との連携(高松港周辺における屋島での展開事業)	ウ-1	瀬戸内国際芸術祭連携事業	19	屋島の魅力の向上を図るため、瀬戸内国際芸術祭2013の開催期間中、瀬戸内国際芸術祭実行委員会と連携して屋島山上でも作品展開に取り組みます。	作品展開に当たっての実行委員会・関係団体との協議、調整 事業費:0 主管課:文化芸術振興課	屋島山上の作品(レアンドロ・エルリッピ『美しく捨てられて』)について、芸術祭2013の会期外(各会期の谷間期間)の運営を実行委員会から委託を受け、同作品の管理・案内等の業務を実施した。 11月末をめどに作品の撤去を行う予定。 今後、次回芸術祭の屋島での作品展開について、実行委員会・関係団体等との協議、調整を進める。	屋島の活性化を図るためには、瀬戸内海の眺望、源平合戦の古戦場、新屋島水族館や四国霊場第八十四番所屋島寺といった、既存の魅力に加え、新たな付加価値を創造していくことが重要であり、国内外から注目されている瀬戸内国際芸術祭と連携した当該イベントは非常に効果的と考える。	3年後の瀬戸内芸術祭では、Mt屋島ではなく屋島アイランドとして公式会場として認定し、屋島山上だけでなく四国村なども活用して事業展開を図り、屋島をベースにして庵治町や牟礼町の有益な文化・芸術施設も巻き込み広域的な展開を図る。	・現在ある作品『美しく捨てられて』を芸術祭終了後も保存。ふもとのケーブルカー乗り場にも作品を制作する。 ・次回の芸術祭作品展示では、山そのもの・屋島の山肌全体を見立てた作品を制作して、陸側からも、海側からも船で見えるような展示方法を考える。 ・駐車場～屋島寺～れいがん茶屋のある遊歩道沿いにも作品を制作して、お土産屋や食堂に立ち寄りやすくする。	実行委員会での次回作品展開に当たっての関係団体との協議・調整 25年度の検証、課題整理、条件整理	実行委員会での次回作品展開に当たっての関係団体との協議・調整 25年度の検証、課題整理、条件整理 設置場所も含めて、検討
09	遠足バス通行料の助成	オ-1	子どもたちの「屋島」への愛着心醸成事業(子ども向けパンフレット作成等)	45	本市の貴重な地域資源である屋島に対する子どもたちの愛着や誇りを醸成し、屋島の特性や価値を継承、発展させていくため、子ども向けパンフレットを作成するとともに、魅力あるカリキュラムづくりについて関係機関と協議するなど、子どもたちが学び、体験できる環境の充実を図ります。	学校関係者等との協議 子どもたちが学び、体験できる環境整備の手法等 (パンフレット 20,000部 A3二つ折り 両面カラー 事業費:512千円 主管課:観光交流課)	23 オ-2 の事業検討結果による。遠足バス通行料助成に代わる事業の提案を受けて、その実施について検討する。	高松市内の学校の遠足について全額助成できないか。	遠足は市民や子どもたちを対象に屋島のイメージアップやPRを行う上において有意義な方策と思います。マップやパンフレットの作成だけでなく、コースの設定、バスの助成金、売り込み手法、推進者など実施可能なまでのアクションプランにする必要があります。	・自然学習、歴史学習、スポーツ実習など、様々な教育的要素が屋島に詰まっています。マップやパンフレットの作成。市内公立小学校に屋島1日体験招待を実施。一日屋島山上で散策や水族館・屋島寺などで職業体験やお遍路体験をしてみよう。 ・香川県の「うどん県時間旅行物語」とコラボして、「大人の修学旅行」用の、子供版とは違うパンフレットを作成する。大人は自然・歴史・スポーツの各専門分野に特化したパンフレットにする。	遠足バス通行料助成に代わる具体的な方策の検討	学校教育課において検討されている遠足バス助成に代わる具体的な取り組みを受けて、事業内容を検討するとともに、より良い実現方法について検討する。
11	自然・歴史ガイドの育成	カ-1	自然・歴史ガイドの育成事業	52	屋島来訪者からの随時の要請に対応するとともに、自然や歴史・文化等屋島の魅力を内外に情報発信するため、山上において、現在、土・日・祝日に活動している既存のボランティアガイドについて、平日についても恒常的な対応ができるよう、人材確保と育成を図ります。	ボランティアガイド募集 広告 関係機関・団体との協議 スキルアップの手法 活動内容の充実 研修会開催 事業費:0 主管課:観光交流課	ホームページにボランティアガイドの募集広告を掲示する。 新規登録希望者に対して随時研修を実施した。 実績:1名		・屋島に関してのあらゆる観光ガイドに対応できる「屋島マイスター」を育成し、そのリーダーシップのもとに、「自然」・「観光」・「文化」など専門分野に特化したボランティアの育成を行う。 ・屋島山頂や山裾をランニング・ウォーキングしている知人が沢山います。地元のアスリートやスポーツインストラクターを屋島スポーツガイドとして活躍していただく。	各種広報ツールによる募集 研修会開催 年2回 (新人研修・スキルアップ研修) ガイドブックの作成	屋島の魅力を伝えられる幅広い分野のガイドを募集・育成する。 各種広報ツールによる募集 研修会開催 年2回 (新人研修・スキルアップ研修) ガイドブックの作成	
15	観光ルートの開発・商品化・宣伝	ウ-4	観光ルートの開発・商品化・宣伝事業等	22	屋島への観光客の増加を図るため、屋島を取り入れた魅力ある観光ルートを開発、企画し、モニタリングツアーの検証を経て、民間での商品化を支援します。	現状把握 屋島観光ルートの現状等把握、参考事例収集 関係機関・団体との協議 事業展開手法、役割分担等 事業費:0 主管課:観光交流課	源平屋島地域運営協議会(事務局:観光交流課)専門委員会において、「集客促進部会」を設置。これまで2回会議を開催し、市の担当者を含め、源平屋島地域で活動している方々の意見を聴取。	県外からの旅行社のモデルコースに入れるよう働きかける	屋島の山上だけでなく周辺地域も含めた観光素材の発掘とルートの開発、公共交通などを絡めた周遊のアクセスの構築、公共交通や周辺施設を絡めた周遊バスの構築、周辺地域の施設や素材と連携した広域イベントの開催など、広域観光開発が必要です。ものづくり、アート、文化史跡、環境、イベントや祭り、などなどのジャンルに分けた素材の提供や、素材を組み合わせたコースの提供などが急がれます。	・宣伝について。現在乱立気味の屋島観光に関するインターネットのサイトを一本化して、そのページを見れば屋島の全てが分かるようなサイトにする。 ・観光ルート開発についても、「自然」・「歴史」・「スポーツ」など、いくつかジャンルを作っておいて、屋島全体を楽しみコースと、自分の趣味にあった屋島を楽しめるプチコースを作っておく。 ・日替わりで地元(高松)の有名人屋さんの出張所を設けてはどうか。 ・イダコおでんとセットで提供する。	民間のノウハウを活用した観光モデルルートの開発、企画モニタリングツアーの実施、検証 商品化誘因方策の検討等 観光ルートの商品化支援	H25年度に香川大学と取り組んでいる「自治体連携による瀬戸内地域の活性化と地(知)の拠点整備事業」による調査結果・提案等の検討 民間のノウハウを活用した観光モデルルートの開発、企画モニタリングツアーの実施、検証 商品化誘因方策の検討等 観光ルートの商品化支援 瀬戸内海国立公園指定80周年の事業に合わせた山上観光ルートの検討・実施

基本構想に掲げる44の具体的施策・事業		取組事業名			概要	平成25年度の事業内容	進捗状況	第1回会議委員意見	平成26年度の事業内容		第2回会議委員意見	
No.	事業名	No.	事業名	ページ					当初	訂正(案)		
16	屋島のパンフレット・マップ等の作成	ウ-9	情報発信力強化事業(パンフレット・マップ等の作成)	27	本市の代表的な観光地である屋島の魅力を国内外に発信するとともに、観光客への利便性を図り、山上での滞在時間の長期化につなげるため、観光スポットを網羅したパンフレットを作成します。	パンフレット・マップの作成 50,000部 事業費:650千円 主管課:観光交流課	類似パンフレットの資料を収集。源平屋島地域運営協議会「企画事業専門委員会」において「情報発信部会」を設置。これまで3回会議を開催し、市の担当者も含め、源平屋島地域で活動している方々の意見を聴取。	原案をにぎわい創出部会に見せてほしい	・屋島山上エリアのみ、周辺道路を含む中腹部と景色エリア、長崎の鼻など、様々な広さから屋島を楽しめるパンフレットを数種類制作する。・英語、中国語、韓国語と余裕があれば多言語パンフレットも作成する。・こちらも“自然”・“歴史”・“スポーツ”に特化したパンフレットの作成を検討する。	パンフレット・マップの見直し、増刷 20,000部	H25年度作成のパンフレットに、利用者・にぎわい創出部会委員等の意見を踏まえて修正を加えて増刷	
17	周辺観光施設等との連携割引制度等の創設	ウ-5	周辺観光施設等との連携割引制度等創設事業	23	屋島を訪れる観光客の利便性を向上させ、入込客数の増加を図るため、源平屋島地域の民間有料観光施設と連携し、割引制度を創設します。	関係機関・団体・事業者との協議 制度の基本的な考え方、役割分担等 事業費:0 主管課:観光交流課	源平屋島地域運営協議会において、「源平の里魅力発見スタンプラリー」の実施を検討。スタンプの設置場所を検討するとともに、設置場所における入館料の割引について、施設と協議を行う。	屋島を訪れた人が屋島周辺で食事や買い物をしてもらう。または、逆ルートが屋島地域の活性化につながる。	屋島の山上だけでなく周辺地域も含めた観光素材の発掘とルートな開発、公共交通などを絡めた周遊のアクセスの構築、公共交通や周辺施設を絡めた周遊バスの構築、周辺地域の施設や素材と連携した広域イベントの開催など、広域観光開発が必要です。ものづくり、アート、文化史跡、環境、イベントや祭り、などなどのジャンルに分けた素材の提供や、素材を組み合わせたコースの提供などが急がれます。	・屋島ドライブウェイの半券で屋島近郊の飲食店・観光施設・休憩所が割引になるキャンペーンを実施。対象はわら家・一鶴屋島店・四国村・屋島第一健康ランドなど。・屋島ドライブウェイ入口か駐車場で“屋島くじ”を実施して、当たりが出たらかわらけ投げ1セット無料サービスなどを提供する。・屋島地域にとどまらず、庵治・牟礼・志度など源平ゆかりの地域にも制度を拡張していく。	関係機関・団体・事業者との協議 手法等の見直し 具体的な連携手法や事業対象の調査・検討	関係機関・団体・事業者との協議 手法等の見直し 具体的な連携手法や事業対象の調査・検討
18	定期シャトルバス路線の拡充	ウ-12	観光周遊アクセス向上事業	30	観光客の屋島山上へのアクセスの利便性向上を図るため、瀬戸内国際芸術祭2013の開催期間中、定期シャトルバスの運行をJR高松駅まで拡充するなど、公共交通機関の結節の強化を図ります。	シャトルバス運行助成 利用状況、採算性等の検証 事業費:7,930千円 主管課:観光交流課	瀬戸内国際芸術祭の開催期間中の土・日・祝日に、JR高松駅まで拡充したシャトルバスを5往復運行した。四国村にバス停を新設した。	最近では、個人の観光客が多い。個人客は、足の確保を第一に考えて訪問地を決めていると思う。行き易さを確保する取り組みは必要。	屋島の山上だけでなく周辺地域も含めた観光素材の発掘とルートな開発、公共交通などを絡めた周遊のアクセスの構築、公共交通や周辺施設を絡めた周遊バスの構築、周辺地域の施設や素材と連携した広域イベントの開催など、広域観光開発が必要です。ものづくり、アート、文化史跡、環境、イベントや祭り、などなどのジャンルに分けた素材の提供や、素材を組み合わせたコースの提供などが急がれます。	・うどんタクシー、うどん周遊バスのコースのスポットに屋島を誘致する(案:『わら家』をうどん屋巡り先に選定して、四国村や屋島山上もコースに取り入れてはどうか)。・JR高松駅その他、栗林公園・玉藻公園・仏生山などからの“たかまつ歴史街道”バスを設けてはどうか。	25年度における検討結果に基づき拡充対策を検討、実施事業者と拡充手法、役割分担について協議	公共交通との共存を考えつつ、観光客視点による使いやすいルートのシャトルバスを検討 25年度における検討結果に基づき拡充対策を検討、実施事業者と拡充手法、役割分担について協議
25	子ども向けパンフレット等の作成・活用	オ-1	子どもたちの「屋島」への愛着心醸成事業(子ども向けパンフレット作成等)	45	本市の貴重な地域資源である屋島に対する子どもたちの愛着や誇りを醸成し、屋島の特性や価値を継承、発展させていくため、子ども向けパンフレットを作成するとともに、魅力あるカリキュラムづくりについて関係機関と競技するなど、子どもたちが学び、体験できる環境の充実を図ります。	(学校関係者等との協議) 子どもたちが学び、体験できる環境整備の手法等) パンフレット 20,000部 A3二つ折り 両面カラー 事業費:512千円 主管課:観光交流課	類似パンフレットの資料を収集。源平屋島地域運営協議会「企画事業専門委員会」において「情報発信部会」を設置。これまで3回会議を開催し、市の担当者も含め、源平屋島地域で活動している方々の意見を聴取。	原案をにぎわい創出部会に見せてほしい	子どもをターゲットにした事業推進は必要不可欠です、子ども向けの参加型ワークショップの講座をジャンルを問わず集めて、ITや紙媒体の情報発信のツールを使って少なくとも毎週末や春休みや夏休みを中心に恒常的に発信する必要があります。どのシーズンでも様々なジャンルのワークショップやイベントが開催されて、まさに「屋島パーク」として遊び場にできれば賑わいの底上げになります。	・提案内容は09とほぼ同じ。・遠足や課外教育学習で長く滞在してもらえるように、山上宝探しゲーム・かわらけ投げ選手権・お囃子道体験ウォークなど、子どもが楽しめるイベントや拠点づくりを進める。	パンフレット 20,000部 前年の利用状況を検証し、必要に応じて修正、増刷	H25年度作成のパンフレットに、利用者・にぎわい創出部会委員等の意見を踏まえて修正を加えて増刷
26	屋島地域交流イベントの開催	オ-4	屋島地域交流イベント開催事業	48	交流人口を増加させることにより、屋島地域の活性化を図るとともに、屋島の魅力についての認識を深めるため、屋島山上および周辺地域を会場としたイベントについて、現在、実施している事業も含め、内容を見ながら拡充を図ります。	関係機関・団体との協議 効果的なイベントの開催、役割分担等 既存イベントの効果的な実施 屋島地域を対象としたイベントの企画募集 事業費:7,000千円 主管課:観光交流課	源平屋島地域運営協議会(事務局:観光交流課)専門委員会において、「集客促進部会」を設置。これまで2回会議を開催し、市の担当者も含め、源平屋島地域で活動している方々の意見を聴取。	地域交流イベントとして、石あかりを園地に年中設置できないか	屋島の山上だけでなく周辺地域も含めた観光素材の発掘とルートな開発、公共交通などを絡めた周遊のアクセスの構築、公共交通や周辺施設を絡めた周遊バスの構築、周辺地域の施設や素材と連携した広域イベントの開催など、広域観光開発が必要です。ものづくり、アート、文化史跡、環境、イベントや祭り、などなどのジャンルに分けた素材の提供や、素材を組み合わせたコースの提供などが急がれます。	・屋島山上での『さぬきマルシェ』の開催(夏季の夜に開催して、イベント名“NICE!の夜市”などはいかがでしょうか。)。・現在サンポート出発、屋島山上着のシーサイドウォークについて、到着地である屋島山頂で完走記念のコンサートやランチ屋台を出展する。・(04)と同一…屋島合戦絵巻の山上での開催。他の源平ゆかりの地をゲストとして招待する。・遊覧船からの屋島周遊コースの設定。	既存イベントの見直し、拡充 屋島地域を対象としたイベントの企画募集 屋島山上での新規イベントの開催 実施したイベントの検証	源平屋島地域運営協議会の意見も踏まえ、既存イベントの見直し、拡充 屋島地域を対象としたイベントの企画募集 実施したイベントの検証 国立公園指定80周年にあわせて、屋島山上での新規イベントの検討・実施
35	眺望を遮る樹木の剪定・伐採	エ-4	眺望を遮る樹木の剪定・伐採事業	38	山上からの良好な眺望を確保するため、関係機関・団体との協議により、ビューポイントを設定した上で、自然環境保護の観点にも留意しつつ、山林保有者等関係者に対して、継続的な樹木の剪定等適切な管理を依頼します。	関係機関・団体との調整 眺望を遮る樹木の特定期間等 関係者に対し、眺望確保のための樹木の適切な管理協力依頼 事業費:0 主管課:政策課	平成25年5月、政策課職員による現地確認を実施。7月、香川県みどり保全課と現地確認、打ち合わせ。平成26年の瀬戸内海国立公園80周年に向け、事業の実施方法について県と調整中。	屋島の魅力は、獅子の霊巖からの景観・夜景、談古嶺からの五剣山、瀬戸内海といった眺望の美しさなので、この事業は必要。加えて、リピーター客獲得のため、屋島でしかできない体験等が必要	県・市で責任を持って実施してもらいたい	・瀬戸内海や源平古戦場が見渡せるエリアは眺望がよく開けるように剪定依頼を行う。・一部は森林エリアとして残しておいて、メサ地形上の台地と考えられる屋島の自然の一部として、地質学学習やジオツーリズムの素材として取り扱う。	関係機関・団体・事業者との調整 眺望を遮る樹木の特定期間等 関係者に対し、眺望確保のための樹木の適切な管理協力依頼	市 政策課と、県 みどり保全課の連携により、眺望を遮る樹木の選定を計画的に実施する。

基本構想に掲げる44の具体的施策・事業		取組事業名			概要	平成25年度の事業内容	進捗状況	第1回会議委員意見	平成26年度の事業内容		第2回会議委員意見		
No.	事業名	No.	事業名	ページ					当初	訂正(案)			
40	新屋島水族館等集客施設の充実	ウ-7	新屋島水族館等集客施設充実事業	25	屋島山上における集客力の向上やにぎわいづくりを推進するため、屋島山上での集客施設の在り方について検討します。	関係機関・団体・事業者との協議 関係事業者の方針等の認識共有 関係事業者の方針等を踏まえた本市対応策の検討 事業費:0 主管課:観光交流課	未着手		・新屋島水族館の夜間ナイター営業を実施。“夜の水族館”を楽しんでもらう。・空海遍路開山1200周年を記念した屋島寺でのセレモニー開催。・瀬戸内国際芸術祭終了後も芸術祭作品展示の継続、『街角に音楽を@香川』の定期演奏会の開催など、県内観光キャンペーンと連動したイベントの実施。・屋島山上の施設が一堂に会してイベントの企画を考える場が必要。	関係機関・団体・事業者との協議 関係事業者の方針等を踏まえた具体的対応策の検討 関係事業者の方針を踏まえた対応 屋島山上における集客施設のあり方検討			
41	山上駐車場の拡充	ウ-8	山上駐車場拡充事業	26	ゴールデンウィーク等、行楽シーズンにおける駐車場不足や、それに起因する道路渋滞を解消するため、山上における臨時駐車スペースの拡充について検討します。	利用状況、現状の把握 関係機関・事業者と運営主体、管理等について協議 事業費:0 主管課:観光交流課	未着手	必要なし	・ドライブウェイ通行料金の割引制度の導入。特定曜日や祝祭日対象の割引や、新屋島水族館利用者に対する水族館入館料金への割引制度、山上おみやげ屋さんでの購入品割引クーポンなど。・遍路道入口などに駐車場を確保して、屋島寺までの遍路道でお遍路体験をしていただく。・ハイブリッド車、低燃費車など、自動車・バスともにエコカー対象の優先駐車スペースを設け、“地球環境に優しい屋島”をPRしてはどうか。	25年度における関係機関・事業者と、運営主体・管理等についての協議を踏まえた検討	利用状況・現状の把握 25年度における関係機関・事業者と、運営主体・管理等についての協議を踏まえた検討		
44	多目的広場の整備	ウ-11	廃屋跡地活用事業(公園・多目的広場等整備)	29	屋島を訪れる人々に対し、憩いの場を提供するため、屋島山上の廃屋跡地の更地を効果的に利活用し、芝生公園や多目的広場等として整備します。	土地賃貸借 芝生公園・多目的広場等の整備 事業費:35,000千円 主管課:観光交流課	山上の廃屋跡地について土地所有者との賃貸借契約が成立し、屋島レストセンターYC跡・ホテル源平跡・榎ノ浦旅館跡・屋島館跡松荘跡について芝生公園や多目的広場を整備している。9月末完成予定。	ビジターセンターは、何度も来てくれる施設が望ましい。屋島館跡地に芸術センターYC跡・ホテル源平跡・榎ノ浦旅館跡・屋島館跡松荘跡についてはいか。広場には庵治石も設置してほしい。	南嶺からの眺望は誰もが認める最高の景色です。現在のわいかん茶屋横の廃屋跡地に高松市内や瀬戸内海、夕日や夜景を背景にした多目的広場と恒久的な階段状の客席などを配置して、広場にはプラッタなステージにも活用できるスペースを取り、音楽イベントや発表会など多目的なイベントが最高のロケーションをバックに展開できる施設が必要です。観客数は200から300人程度	屋島山上でランニングやトレッキングを楽しめるスポーツの拠点施設を設ける。・多目的広場では毎月定期的にイベントが行えるように、県・市などの行政だけではなく、民間からも幅広くイベント案を募集する。・芝生は栗林公園や玉藻公園などの高松の他の観光地や、鎌倉・下関に生えているものと同じ品種を植えるなどして、ストーリー性を持たせた整備を行う。	土地賃貸借 芝生公園・多目的広場等の整備	H25年度に整備が完了した4か所について、引き続き土地の賃貸借を行い、整備地の管理を行う。	
その他意見									屋島山上をテーマパークととらえて、エリア毎にゾーニングを行いテーマ性を持った施設の整備や事業計画が望ましい。 北嶺(遊鶴亭から駐車場エリア)はハイキング・散策ゾーン、駐車場周辺は情報交流ゾーン、南嶺(駐車場から屋島城、山上駅、談古嶺)エリアは、史跡・アートゾーン、南嶺(屋島寺からレイガン、水族館)のエリアは、賑わいゾーンとして各々のテーマに沿った再整備を行い、多様なお客様のニーズに応える開発が望ましい。 屋島山上テーマパーク中央に位置する駐車場周辺を、情報交流ゾーンとして、屋島及び周辺地域の様々な情報発信拠点の整備、屋島の体験ワークショップや展示会などが展開できるスペースを整備し、交流拠点として整備する。この場所で知り得た屋島山上の情報資源を基に各ゾーンへと放射状にお客様が展開する環境整備がハイキング散策ゾーンでは、手すりや路面を再整備し、自然環境や古墳なども絡めた散策コース、レンタル自転車の導入など史跡・アートゾーンでは、屋島城と屋島山上駅舎の有効活用、庵治石産地望む談古嶺周辺地域では、庵治石を活用した石彫展示などを展開して庵治石産地の紹介とアートを絡めた展開を図る。 賑わいゾーンは廃屋跡地に園地整備を進め、多目的な対応ができる有効スペースを確保し、抜群のロケーションを活かした賑わいイベント的な展開を図る。	屋島の事業が一元化されていない。ここに聞けば、ここを見ればすべてが分かるかといったものができないか。 ひとつひとつの事業の進捗管理に意味があるのか。すでに行政が進めていること。意見の反映される仕組みが分かりにくい。 一元化は、観光客からの問い合わせに対しても、この魅力ある屋島再生協議会の運営に関しても言えること 現地(屋島山上)に事務局(NPOなど)を置き、ワークショップをしたり、屋島の情報の一元化を担う組織を作れないか 緊急雇用を活用してもいい HPの一元化。屋島へのプラッタホームになるようなものを構築できないか。 事務局と連携させたもの 屋島山上をゾーニングして、それぞれにワークショップなどを展開する人材・団体を巻き込む運営組織の立ち上げが必要 行政主導で立ち上げ、3年をめぐりにNPO立ち上げができればいい 屋島の伝説を具現化したもの(銅像)を置けないか			